

時間割コード	G2B40612	開講年度	2026				
授業題目	ジェンダー論【EA】					担当教員	加藤 善子
英文授業名	Gender Studies						
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	月曜・5時限	対象学生	全
講義室				授業形態	e-Learning	遠隔授業科目	該当 備考
信大コンピテンシー	該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】		
	大学D P 学士の称号にふさわしい基礎学力と専門的学力				社会構造によって女性や男性の選択や生き方や規定される構造を説明できる。その状況を批判的に分析し、自身を含む男女が平等に、協同して生きられる社会のあり方を考えることができる。		
(2)授業で学べる「テーマ」	多文化協働、キャリア						
(3)全学横断特別教育プログラム	グローバルコア人材養成コース ・ B A S I C (国際理解)						
(4)授業の概要	私たちは、女性だろうと男性だろうとそれ以外の性であろうと、女性か男性かのどちらかに分類され、社会の制度に当てはめられて、その枠の中で行動するように制度的・文化的な制限を受けています。この授業は「ジェンダー」を軸として、女性と男性の両サイドから社会を見ながら、色々な場面におけるジェンダー状況をひとつひとつ紐解いていきます。 私たちは、多面的な存在です。ジェンダーだけでなく人種や国、育った家庭環境、通った学校、そして、どういう人を好きになるのか／ならないのか、自分をどう表現したいか、どう自身の人生を生きていきたいか、といった複数の要素が組み合わさった存在なのです。それらの1つ1つが、社会の「つくり」—法制度や労働制度、日々の生活における文化的社会的役割など—toに照らし合わせたときに、自分にとってうまく機能するものと、うまく機能しないものが、誰にでもあるでしょう。 ご自身がどのようなジェンダー環境に取り巻かれて生きてきたのか、そしてこれから生きていく社会はどのようなものか、発見しながら、受講していただければと思います。 授業は基本的にZoom上で行います。教科書とパワーポイントによる講義形式で進め、授業の後には、授業内容の復習テストをeALPS上で行います。また、レポートも同様にeALPS上で提出します。 【本授業は男女共同参画に関する内容を含んでいます。】						
(5)授業のキーワード	ジェンダー、男性の生き方、女性の生き方、対等な社会関係、自己実現						
(6)授業計画	第一回（4/13）ジェンダーとは何か 第二回（4/20）自分のマジョリティ性とマイノリティ性を考える 第三回（4/27）「下駄」をはかされているのは男性か女性か 第四回（5/1）学校教育とジェンダー どうして男女で進路が異なるのか 第五回（5/11）学校教育とジェンダー どうして体育や運動部は男女別？ 第六回（5/18）家族とジェンダー 家族・結婚・家事・育児の歴史 第七回（5/25）家族とジェンダー 愛と性の問題 第八回（6/1）労働とジェンダー 男女雇用機会均等法の現実 第九回（6/8）労働とジェンダー 同一労働同一賃金はなぜ必要か 第十回（6/15）法とジェンダー 法律のなかの不平等 第十一回（6/22）法とジェンダー 性暴力・DV 第十二回（6/29）文化とジェンダー ことばとジェンダー 第十三回（7/6）文化とジェンダー 女ことばの歴史・ことばの中性化 第十四回（7/13）文化とジェンダー 移民とジェンダー 第十五回（7/27）女性運動と男性運動の歴史、まとめと授業アンケート、閉講 * 授業内容や順序を変更することがあります。						
(7)成績評価の方法	* 成績は、学生の行動と努力の結果である。自分の目指す成績になるよう、受験を忘れず、毎回の点数を記録するなどして、成績を管理しなさい。受験忘れなどに対する救済措置は基本的にとらない。 ・ 復習小テスト80点（5点×10回＋6点×5回・平常点にあてる）、 ・ ピアサポの利用10点（イベント参加、ライティングアドバイザー利用、レポートの書き方動画の視聴など 1回5点×2回まで）。開講後に指示する。 ・ レポート10点（7月7日正午締切）。 * 合計100点。60点以上合格、60点未満は不合格。 * 復習小テストを10回以上受験しており、期末試験も合わせた総計が60点以上であることが、単位認定の条件となるので、自身の受験記録に留意しておくこと。						
(8)成績評価の基準	* 本授業で60点を取るには、自分を律して定期的に忘れずに受講・受験する態度が必要である。60点を取るということは、自律して学ぶ態度が最低限身についたことを示す。 * 60点以上を取るということは、ジェンダーの問題に関して、必要最低限の知識と考え方を身につけていることを示す。						

(8)成績評価の基準	* 70点以上を取るということは、ジェンダーの問題に関して、一応の知識と考え方を身につけていることを示す。 * 80点以上を取るということは、ジェンダーの問題に関して、知識と考え方が体系的に見についていることを示す。 * 90点以上を取るということは、十分に自立的に学習できる能力が備わっており、かつ、ジェンダーに関する体系的な知識があり、社会レベルでの問題と自分の生活レベルでの問題をつなげて理論的に分析できることを示す。
(9)事前事後学習の内容	* 毎回復習テストがあるので、授業を受けた後は時間をかけて復習をすること。基本的に用語や概念の理解からはじめ、なぜある事柄が問題になるのかを理論的に説明できるようにしておくこと。 * 忘れずに復習テストや中間・期末試験を受けること。受け忘れに対する救済措置はありません。 * 期末試験で課される記述問題は、各回の授業で出される記述課題のいずれかである。早い段階で『新入生ハンドブック』を確認し、ピアサポ@Libのライティング支援を積極的に受けること（早い段階で支援を受けた学生ほど、レポート記述問題やレポートの点数が良い傾向がある）。 この授業は90時間の学修を必要とする内容です。従って、60時間以上の時間外学習が必要となります。
(10)履修上の注意	【本授業は完全eLearningです。】 * 指定の教科書を必ず購入し、毎回の学習の際に使用してください。 * 復習小テストは、授業で触れていなくとも教科書に書かれていること、および、教科書にはないが授業で触れたことのすべてを対象とします。前回までの復習問題も含まれるので、授業の前に該当箇所に通り目を通し、キーワードや大切な概念に線を引くなどの予習をしておきましょう。
(11)質問、相談への対応	* シラバスを読めば分かる質問には返事をしません。まずはお友達3人に聞きましょう。 * 正しい書き方ではないメールには、返事をしません。 * 授業の内容に関する質問を歓迎します。オフィスアワーは開講後に提示しますが、基本的にはメールで事前に予約を取ってください。メールアドレス：katoy@shinshu-u.ac.jp 研究室：全学教育センター4階南
(12)授業への出席	復習小テストを期限内に受験することをもって出席とみなします。 10回以上の受験が単位認定の条件になります。
(13)授業に出席できない場合の学修の補充	「学修の補充の対象とする事由」により授業を視聴し課題を提出できない場合は、共通教育履修案内に掲載されている方法により補充を受けるための申請をおこなってください。
【教科書】	木村涼子他『よくわかるジェンダー・スタディーズ』ミネルヴァ書房、2013年、ISBN：978-4-623-06516-5。2600円＋税。
【参考書】	ダイアン・J・グッドマン、2017、『真のダイバーシティをめざして』ぎょうせい、2640円。 周司あきら、2025、『男性学入門—そもそも男ってなんだっけ？』光文社新書、900円＋税。 多賀太、2001、『男性のジェンダー形成－＜男らしさ＞の揺らぎのなかで』東洋館出版社、4410円。 牧野百恵、2023、『ジェンダー格差—実証経済学は何を語るか』中公新書、900円＋税。 竹信三恵子、2013、『家事労働ハラスメント—生きづらさの根底にあるもの』岩波新書、864円。 角田由紀子、2013、『性と法律—変わったこと、変えたいこと』岩波新書、886円。 中野円佳、2014、『「育休世代」のジレンマ 女性活用はなぜ失敗するのか？』光文社新書、950円。 荻野美穂、2014、『女のからだ—フェミニズム以後』岩波新書、842円。 井上輝子・江原由美子編、2005、『女性のデータブック－性・からだから政治参加まで』（第4版）有斐閣、3360円。 ジュディス・バトラー、2018、『ジェンダー・トラブル：フェミニズムとアイデンティティの攪乱』青土社、2800円＋税。 小西一禎、2024、『妻に稼がれる夫のジレンマ』ちくま新書、900円＋税。 中村桃子、2012、『女ことばと日本語』岩波新書、800円＋税。 中村桃子、2024、『言葉が変われば社会が変わる』ちくまプリマ—新書、880円＋税。 江原由美子、2021、『ジェンダー秩序 新装版』勁草書房、3500円＋税。